

# 令和3年度 上京中学校の教育

## ◎校訓

「人・もの・ときを大切に」

## ◎学校教育目標

### 自立・貢献・夢づくり

～ 豊かな心とたくましく生きる力を備え、  
社会に貢献する夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成～

## ◎めざす生徒像

1. 自己を見つめ、自らの課題に向き合う生徒
2. 目標を定め、主体的に学び・行動する意欲をもった生徒
3. 何事にも一生懸命に取り組み、粘り強くやり抜く生徒
4. 自らを律し、正しく判断・行動できる生徒
5. 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う生徒
6. 集団の中で、学び合い、磨き合い、高め合う生徒

## ◎めざす教職員像

1. 生徒理解に努め、一人一人を大切にする教職員
2. 自らの仕事に誇りをもち、自ら学び続ける教職員
3. 信頼され、尊敬される教職員

## ◎めざす学校像

1. 明るく楽しく安心して通える学校
2. 一人一人の良さが発揮され、互いに成長し合える学校
3. 信頼され、誇りをもてる学校（通いたい・応援したい・働きたい）

## ◎学校経営方針

### ◆一致協働し、信頼され、自信と誇りをもてる学校づくり （目指すは学校教育目標・めざす像の実現）

### ◆生徒指導の三機能を常に視点にもった教育実践 （自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係）

### ◆対応や取組の合言葉は『さしせせそ』

- ・**最**初が肝心 … 第一印象、初期対応の大切さ。「おもてなしの心」も忘れずに。  
まずは「計画・準備」と「(進んで) あいさつ・時間(守る)・掃除(環境美化)」の実践から。
- ・**心**しっかりと傾聴 … 信頼の第一歩。相手の話を最後まで聞く。「心の声」に耳を傾ける。
- ・**素**早く行動 … 何事にも「迅速・丁寧・徹底」を心掛け。
- ・**正**確な記録 … トラブルの回避。共通理解は「報告・連絡・相談・記録」から。
- ・**組**織で対応 … 協働態勢と叡智の結集。安心・協力と学びの場。「学び合い・高め合い・相談し合い」が組織を成長させ、風通しのよい職場へと。

## ◎今年度の重点項目

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高めるとともに、「自ら学ぶ力」を育成するための工夫を図る。**(授業改善・学びに向かう主体性の育成)**
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。**(自ら学ぶ力の育成)**
- 自己を大切にする態度と内面への働きかけを通して、しなやかで豊かな心を育成する。  
**(道徳教育・人権教育の充実)**
- 職場体験等、様々な体験活動を通して、社会で自立するために必要な能力や意欲、態度を育成する。  
**(キャリア教育の推進)**
- 校種間連携・接続や地域と連携した取組を推進する。**(保幼小中連携・地域貢献)**

## ◎具体的な取組

### 1. 「確かな学力」の育成に向けて

- ・育成すべき生徒の資質・能力を明らかにし、主体的・対話的で深い学びの実現によって、それら資質・能力を涵養するとともに、授業導入時のめあて・見通しの確認や、終盤のまとめと振り返りを徹底することにより、学びと社会とのつながりや、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を展開する。
- ・学校全体で授業改善の視点から校内研修や研究授業・研究協議等の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ授業を進めていくことができるよう授業力の向上に取り組む。
- ・全国学力調査や学習確認プログラムから学力実態を把握し、課題を明確にして計画的な学習を進める。
- ・主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図るために、家庭学習の課題の工夫に取り組む。
- ・朝読書や図書館教育を充実させ、各教科・領域と連携し言語活動を充実させる。
- ・個別の指導計画を活用し、LD等支援の必要な生徒の学力を向上させる。
- ・GIGAスクール構想の下、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用する力を育成する。

### 2. 「豊かな心」の育成に向けて

- ・道徳の時間を中心としたしなやかな道徳教育の実践を推進し、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考え共感できる心と、よりよい人間関係を築く自主的・実践的な態度を育成する。
- ・社会生活を送るうえで必要な規範意識を育成するとともに、命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など、生徒の豊かな人間性の育成を図る。
- ・自己有用感や自己肯定感などの自尊感情を高め、一人一人の生徒が「自信と誇り」を持って自らの力を発揮できる、集団づくり、学級経営を推進する。
- ・様々な教育活動を通じて、障害の特性や障害のある生徒の困りについての理解と認識を深め、互いに尊重し、共に成長し合う教育を推進する。

### 3. 「健やかな体」の育成に向けて

- ・運動やスポーツに親しむ気運を高め、その楽しさや喜び、達成感・成就感等を味わい、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践することができるよう、体育学習や運動部活動の一層の充実を図る。
- ・体育学習や部活動の実施にあたっては、組織的・計画的な安全管理・健康管理を徹底するとともに、部活動の運営にあたっては、適切な休養日や活動時間を設け、安全で、より充実した活動となるよう学校全体で取組を進める。
- ・早寝、早起き、朝ごはんなどの基本的生活習慣をさらに確立させるために実態調査を行うとともに、保護者や家庭への啓発を図る。
- ・薬物乱用防止教室、性教育、エイズ教育等の実施により、正しい知識の理解を図り、心や体を大切にする教育を推進する。
- ・学校教育全体を通して防災教育や防災管理を充実させ、自ら命を守る主体的態度や安心で安全な社会

づくりの意識を高める。